

夏花火

みなとみらいがまだ無い頃
住んでた横浜の高台から
見えた港の花火
あの日思い出す

残業で遅くなって
玄関の扉開けたら
悲しそうに出迎える
浴衣着た君

今更近くには行けないということで
近所の開けた高台のマンション
うちわ持って駐車場に二人たたずみ
最後のスターマインまで見てたね

自家用車ですらまだ無い頃
電車で東京に 繰り出して
隅田川の近くまで
花火見るために

人混みがすごくて
前には進めない
打ち上がる音だけ
お腹に響く

それでも時折見上げて見える火の粉
近くで見る迫力に少しだけ満足
結局最後まで近づけないまま
帰りに食べたかき氷が懐かしい